

## 平成31年度 年間授業計画

- 1 学年・科目・単位数  
第1学年 工業数理基礎 3単位
- 2 担当教員
- 3 教科・科目のねらい  
工業人として、機械設計・原動機等を数理的に解決するための基礎知識を養う。
- 4 年間授業計画

学期	単元（授業内容／時間）	重点項目	評価の観点
1	計算技術検定4級の内容 計18～21時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四則演習</li> <li>・集計</li> <li>・実務を電卓を利用して解く</li> </ul>	⑥に記入
	SI単位 SI接頭語 計18～21時間	工業で常用される単位・接頭語の習得	⑥に記入
2	速度・加速度 計算技術検定3級 計18～21時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速度、加速度、距離を計算で求める。</li> <li>・11月中旬の検定試験合格を目指す。</li> </ul>	⑥に記入
	計算技術検定3級 三角比、三平方の定理 力 計19～21時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月中旬の検定試験合格を目指す。</li> <li>・力の合成、分解を理解する</li> </ul>	⑥に記入
3	モーメント 力のつりあい 仕事と動力 計20～24時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モーメントの定義</li> <li>・仕事、動力の定義</li> <li>・定義を利用した問題解決法</li> </ul>	⑥に記入

- 5 使用教科書・副教材他  
工業数理基礎(実教) 自作プリント

- 6 評価方法・観点

出欠席・学習習慣・試験の成績・提出物および検定試験の成果等を総合的に判断し、評価する。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。